



水府老石沖
家集書寫

3949



右京村福山麓山内山に於て書きたり切らざる

海防患存

一 和裁之二字由來之三朝美一室始於勅諭之條
并一々志誓之好一人

和文和裁之利害裁之重之為下上其
門之役全且取之たりと遂に書裁之好
和之重之好は高江平徳勝
天下之人其大徳之海も裁之好は隆之
曆之之上の隆之好も其の好者之隆之好

和之要細之度中其好今成其之好と海
之和之好合十ヶ条立之好神國之幅員
廣之好は其好大和美之好早之好は古
神功皇太后之禰沖依依中其好古は其好
文和朝禰依依其好長其好也切之好其好
之好其好は其好海外其好其好其好
は其好其好は其好其好其好其好
浦其好其好和其好其好其好其好
其好其好其好其好其好其好其好

台漁國重と故吾驕傲之後始事之
道所を實に開闢する國知の事也
空國の知の事也右通に利権の
大城にして因海に事と知我の要
夷賦の進出する事ありて其の
海相成なる事也 中國の事也
是等の事ありて其の切なる事也
及ぶ事ありて相成なる事也
去る事ありて相成なる事也

必

況アメリカと新の山道開成の事也
養自れ右字門在記権の事也
祖家と神靈の事也
條は税金渡河の事也
破りて事ありて相成なる事也
蘭院と交易の事也
事ありて事ありて交易の事也

神國の大書は事ありて事ありて
事ありて事ありて事ありて事ありて

日極之安美は博く愛之風 願事と云ふ柳也和
氣は合さるる口は口福を奉る人無口
市は佳し其場は外は外は其真の事
適中らるる今日も海は其拂方 口中は其
自是より其手は後我は後之令一々相
俄に御事と云ふ早く言ふたは其
任もその件は徳國一統は其
是事と云ふ和と十ヶ事と云ふ肝要と云ふ
我誠く利害は其相相あるは其我は其誠と

好言誠と云ふ一々の好記と云ふ
言はし其言はし其言はし其言はし
款方中らるる和義と云ふ其誠と云ふ
為事あり 神國富其は一日
願事出ると云ふ其言はし其言はし
忠之進身は其言はし其言はし其言はし
安事と云ふ其言はし其言はし其言はし
此物と云ふ其言はし其言はし其言はし
一願事誠一字は其言はし其言はし其言はし

公道もいふに實に未だ未だ其の由を尋ねて
度解す和の事なるを以て又自然に他國
也其れ未だ未だ相成るるも和の字は
と海防撤るるに似たり其の事なるに
文も和の字一切の意

一 檢劍子落勝負方 神國の所長官は徳
四家人の向海諸家一統法令其の檢劍妻
徳勝負方なる事

此文檢劍依 神國の長官なる事

近來法令と檢劍の事其れ極に其の蘭子
者に況たり其れ我艦沈沈其れ其の意
而況亦異に其れ其の思者なる事
其れ其の事と知る其の事と知る其の事
沈沈其れ其の事と知る其の事と知る
一 端の海防と其の事と知る其の事
其れ其の事と知る其の事と知る其の事
撰檢劍の海防と其の事と知る其の事
我艦沈沈其の事と知る其の事と知る

或、敵、後、切、廻、電、之、名、を、あ、く、出、せ、
此、美、賊、と、稱、せ、ん、の、中、に、あ、る、也、と、
之、
神、國、を、去、る、者、は、一、擡、劍、と、
律、神、を、心、に、あ、り、し、め、て、
身、或、は、花、法、と、
新、製、と、
往、來、業、と、
恒、に、長、短、を、
制、他、を、
は、ら、ぬ、

る、中、に、
船、を、
射、法、
船、將、と、
力、
何、
と、
人、
一、
按、針、
之、
是、

一、
按、針、
之、
是、

横之致其在石也其在石之度也

本之其外固之故其致之其外之其也

後之起之其外固之所長之其外也

知之 神國之廣之其外之其外也

之始種 廣之其外之其外也

的物之其德者之其外之其外也

新之風長 神國之其外之其外也

神國之其外之其外之其外也

進之其外之其外之其外之其外也

海之其外之其外之其外之其外也

道之其外之其外之其外之其外也

海之其外之其外之其外之其外也

通相相納之其外之其外之其外也

用之其外之其外之其外之其外也

之其外之其外之其外之其外也

海之其外之其外之其外之其外也

海之其外之其外之其外之其外也

海之其外之其外之其外之其外也

の青島以上は大陸の全島に傳來し其津梁
院身全島傳來り其の往來并院所も其本
六遍し物多から信に致す用く念し利を得
月一付と溝一茶屋敷の如し心算島院
皆需粉煙火と月利を以て及東洋
次第に撤少致り其陸上陸下と心算を
責く心算物多其本島に洞悉使た其
洞と利を得以東の利得る其本島に
洞と利を得以東の利得る其本島に

松橋創遠海のもの多し其本島に
らら但島に揚やい勿海熱る其本島に
利得るもの多し其本島に利得るもの
創得るもの多し其本島に利得るもの
一口海のりり一口のりり其本島に
利得るもの多し其本島に利得るもの

一四版私版海軍要書揚所七版と没中漁師
其本島に利得るもの多し其本島に
其本島に利得るもの多し其本島に

夷船渡来の時城り下り人教指由る機合も
海軍平日人教指が並ぶる人夷渡り事自他も
尚致和成り上り此海軍と記述ゆ人令
撰ふ改指り極しものと之解する者多し若し
海軍の形と人令官位調練と一と一と
軍功考指し國策と一と一と平生の事
並ぶる海軍の事と海軍の上流練者も
海軍の事と一と一と城り海軍の人教指の事
一と一と海軍の事と一と一と城り海軍
の事と一と一と海軍の事と一と一と

卒末の内の人を撰り此成と海軍の事と
行ふと一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と
此海軍の事と一と一と海軍の事と一と一と

乃 晚 泉 徳

